

令和 7 年度 文京区障害者地域自立支援協議会
第 2 回相談・地域生活支援専門部会 次第

日時 令和 7 年 9 月 18 日（木）午後 2 時から
文京シビックセンター3 階 障害者会館 AB

1 開会挨拶 文京区障害者自立支援協議会 副会長 志村健一氏より

2 議題

(1) 支援を円滑に引き継いでいく方法について

・引継ぎチェックシート ワーキンググループ進捗報告 【資料第 1 号】

(2) 暮らしをサポートする仕組みについて (グループワーク形式)

・第 1 回事例検討から見えてきた地域資源と課題 【資料第 2 号】

・報告事例②について意見交換 【机上配布・回収資料】

3 総括

4 事務連絡 次回日程等

・第 3 回：12 月 5 日（金）10:00～12:00

配付資料

【資料第 1 号】ワーキンググループ検討結果報告書

【資料第 2 号】第 1 回事例検討から見えてきた地域資源と課題

【資料第 3 号】グループ名簿

【机上配布・回収資料】「暮らしをサポートする仕組みについて」報告事例

【令和7年度相談・地域生活支援専門部会】

引継ぎチェックシート ワーキング報告書

日時： 令和7年8月12日(火)午前9時～10時15分

場所： 文京シビックセンター3階 障害者会館 和室

参加者： 樋口氏（本富士生活あんしん拠点管理者）、松尾氏（エナジーハウス所長）、中谷氏（高齢者あんしん相談センター本富士センター長）、辻廣氏（大塚生活あんしん拠点管理者）、齋藤氏（文京区民生委員・児童委員協議会副会長）、荒井氏（障害福祉課障害者施設担当係長）、事務局：高田・高谷・河井・谷本・池田

配布資料 ① 次第

② 文京区版 介護保険サービスへの引継ぎチェックシート

③ 【事前アンケート結果】支援者用引き継ぎチェックシート(仮)の活用に向けて

議題1. 引継ぎチェックシート作成に至る昨年度からの流れについて

事務局：谷本より経緯を説明。

- ・令和5年度部会第3回のグループワーク（以下、GW）にて障害福祉サービス→介護保険への移行が地域課題の1つとして上がり、流れの整理を進めていくことになった。
- ・令和5年度に2回、令和6年度に9回、計11回のワーキングを実施。ブレインストーミング方式でアイデアを出し合った。方向性として、既にある他自治体のシートを参考に、慣れていない新人職員でも実務で活用できる支援者向けのものを作成することとした。
- ・作成案を関係所轄部署の意見や加筆修正を経て、令和7年度第1回部会にて完成版を配布した。

議題2. 引継ぎチェックシートを活用した勉強会（周知の場）について

事務局：高谷より配布資料③の項目2に基づき周知の場について以下を提案。

○「文の京ケアマネ会」

中谷氏より説明。昨年から今年にかけて立ち上がった文京区内ケアマネの自主的な集まり。会則等が整備され、勉強会が始まっている。25名程の会員、年2回実施、次回は区民センターにて2/18(水)午前中の予定。そのための世話人会が9/3(水)にある、事務局は居宅健生の小野寺氏、世話人会の議題に上げてもらうために事前に連絡・相談されてみてはどうか。

○「訪問看護ステーション連絡会」

事務局：高谷より阿部副部会長の承諾に基づき説明。隔月の開催、次回は10/8(水)夜間の予定。

<意見交換>

- ・勉強会毎にメンバーを分けるのであれば、説明にあたっての枠組みのパッケージ化が必須。周知の場としてある程度しっかり時間を確保することも必要。
- ・保健師から介護保険へ引き継ぐことが多い。周知の場として「保健師合同研究会」はどうか。

- ・ 64 歳の方に関わって障害福祉から介護保険への移行があることを初めて知った。当時、障害福祉で手続きを進めていたら 65 歳で支給が途切れてしまうことがあった。
- ・ 素材が必要だと感じる。障害福祉分野の受給者証・サービス等利用計画、介護保険への移行を促す行政の通知見本・介護保険申請書類・受給者証・ケアプランなど、具体例があった方がよい。周知の場によっても知識量が変わる。
- ・ 65 歳に向けた様々な通知が次々に届くことが面倒、わからなくて放置する人もいる。
- ・ 事務局＋ワーキングメンバーの組み合わせで、規模感が小さい方が質問が出やすい。
- ・ 場によっては福祉関係者ばかりとは限らないため、パッケージ化したもののでの対処が難しい場合もある。形に拘り過ぎない実施方法の検討も必要。
- ・ 福祉関係以外での勉強会では、そもそもの説明が必要になる可能性もあるのだとすると、初回の周知の場としては避けた方がいいかもしれない。障害福祉分野でプレ実施し、そこでの質疑応答を基に想定問答リストを作り、高齢分野での実施に備えるなど。
- ・ 民生委員は、支援者として手続きを担うわけではない。何かひとつに特化して詳しいというよりは、導入部分の知識を基に支援が必要な方へ情報提供したり、繋ぎ先を伝えるために知りたい。

<結論>

初回は障害福祉分野でプレとして実施、アイデアや感想・質疑応答を基によりよい実施方法を検討・調整し、高齢分野や医療・保健分野への勉強会に向けて備える。

議題 3. 引継ぎチェックシートの勉強会で取り上げる事例について

議題 2 の意見交換の結果、今回は選定に至らず。次回ワーキングで検討予定。

議題 4. 引継ぎチェックシートの勉強会実施に向けてのスケジュールについて

<次回ワーキング> 9/10(水)16:30 より障害福祉会館和室にて

今期の相談・地域支援専門部会の開催予定：第 2 回を 9/18(木)、第 3 回を 12/5(金)

令和 7 年度 第 1 回 相談・地域支援専門部会
「暮らしをサポートする仕組み」事例検討から見えてきた地域資源と課題

地域資源

【障害福祉】障害福祉課、基幹相談支援センター、拠点、計画相談、居宅介護、重度訪問介護、移動支援、自立生活援助、福祉用具

【住まい】すまいる住宅、居住支援協議会、居住支援法人、住宅改修、ごみ訪問収集サービス

【食事】配食サービス、ネット販売

【金銭】生活保護、障害年金、福祉手当、都営交通無料パス、社協金銭管理サポート

【医療】かかりつけ医、訪問リハビリ(Ns、PT、OT)

【就労】就労支援センター、ハローワーク

【居場所】拠点サロン、地域活動支援センター

【権利擁護】専門相談(法律、税務など)、成年後見制度

【その他】避難行動要支援避難者名簿への登録、文京ユアストーリー

【インフォーマル】

家族会、当事者団体、民生委員、学生ボランティア、町会、オンライン同窓会、OB 会、知人・友人、緊急時通報システム(アルソック、クロネコヤマト見守りサービスなど)、Apple Watch(バイタルチェック)、株式会社御用聞き(100 円家事代行サービス)、余暇サークル、社協いきいきサービス、社協お助け隊、

地域課題

- ・かかりつけ医がいない、見つけられない
- ・情報格差を埋める情報発信
- ・自立生活援助
- ・精神障害者単身生活サポート事業の拡充
- ・一人暮らしの手引きやマニュアル
- ・オーナーや不動産屋との交渉
- ・賃貸住宅の改修・現状回復費用の助成
- ・電動車椅子の人が通行しやすい通路幅の確保(公的施設、商業施設)
- ・バリアフリー物件が少ない(パートナーと同居する場合はパートナーの部屋、介助者の待機部屋等も必要)
- ・障害者も利用できるシェアハウスがない

委員名簿兼グループ一覧

【委員】

グループ	氏名	所属等
	志村 健一	東洋大学福祉社会デザイン学部 教授
1	加藤 たか子	保健サービスセンター 保健指導係長
	樋口 勝	本富士生活あんしん拠点管理者
	夏堀 龍暢	祐ホームクリニック吾妻橋医師
	辻廣 直己	大塚生活あんしん拠点
2	阿部 智子	訪問看護ステーションけせら 統括所長
	松尾 裕子	地域活動支援センターエナジーハウス 所長
	荒井 早紀	障害福祉課 障害者施設担当主査
	東浦 裕治	事務局（基幹相談支援センター）
	高田 俊太郎	事務局(基幹相談支援センター)
3	安部 優	リアン文京 課長
	福田 洋司	障害福祉課 身体障害者支援係長
	上村 紗月	文京区社会福祉協議会 地域福祉推進係長
	中谷 伸夫	高齢者あんしん相談センター本富士
	高谷 通代	事務局(基幹相談支援センター)
4	清水 健太	文京地域生活支援センターあかり 施設長
	三輪 加子	ケアワーク弥生 介護支援部管理者 常務取締役
	大橋 久	文京区民生委員・児童委員 協議会 副会長
	柳瀬 裕貴	予防対策課予防対策主査
	谷本 すみれ	事務局(基幹相談支援センター)

【事務局】

	河井 美奈子	基幹相談支援センター
	望月 大輔	障害福祉課障害福祉係
	鈴木 周平	障害福祉課障害福祉係
	宮田 侑奈	障害福祉課障害福祉係